

## 研修会参加報告書

会派名：財政健全課

### 1. 研修の概要

- (1) 目的 2022年度決算について  
(2) 日時 2023.8.19(土)18:00～20:30 8.20(日)9:00～15:00  
(3) 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター  
(4) 参加者 杉浦 功記



### 2. 研修内容

2023年度第1回全国自治体議員行財政自主研究会

テーマ：令和4年度(2022年度)自治体決算

講師：菅原敏夫氏（地方自治研究所研究員）

◇菅原氏からレジュメに沿った講義

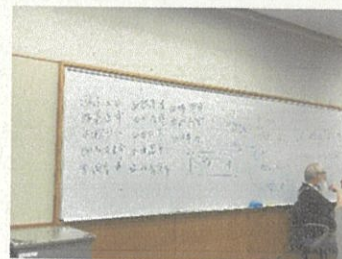
- ・歳入（地方税、国税収入）が史上最高。自治体決算は「好決算」が見込まれるが、実態は。
- ・この3年間の税収増はコロナとウクライナのおかげ。それが無くなったら、どうするか。
- ・株式市場の上げ下げも、市税収入に大きく影響する。
- ・「決算収支の状況」を見る必要は無い。というのも、いま赤字の自治体は無いから。

◇研修参加者が所属する各自治体の決算カードについて考察等発表

・西尾市と他市の違いとしては、市民税（法人分）について、多くの市では企業業績回復に伴い増加している一方、本市では減少となった。検収調書にも記載のように、自動車関連の大企業において大きく業績を落とした企業があったため、法人の市民税が減少したことがわかった。またこれに関連して、当市のデンソー工場誘致の効果について市民税（法人分）、法人事業税交付金等の仕組みを講師から解説を受けた。

### 3. 所感

まず、前年に参加した勉強会において、決算審査にあたっては検収調書を手に入れるべきという話があったため公文書開示請求をして入手したが、決算書類を読み進める上で有効に利用できたので、来年以降も忘れず行いたいと思う。



さて、講義にもあったように、市は収入増、借金減と、好決算を示している。「節約して。借金を増やさないで。」という指摘は通用しない。逆に必要なことにお金が使われなかった点を気にすべきとなる。また、お金が余っていると首長はつまらないことにお金を使いがちにもなる。それらに注目して決算審査に臨みたい。

項目	支出金額	備考
研修費	6,000 円	参加費
研修費	29,400 円	旅費等
合計	35,400 円	